令和８年度事業中間報告

１）普及活動の充実

①ミニ展示会の開催（化石博物館事務経費）

◆名　　称　師崎層群の化石
　概　　要　近年発掘調査が行われ、新しい発見があった師崎層群に焦点をあて、新種となった標本や新たに発見された標本を含めて13点の化石を展示し、瑞浪市が浅い海だった頃の愛知県の様子を紹介する。
　期　　間　５月３日～令和９年１月頃

②講座等の開催（定期講座開催経費）

◆名　　称　みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
　概　　要　小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり＋化石のクリーニング（１日コース）を行う。
　開 催 日　毎月１回
　定　　員　半日コース：30名、一日コース：20名
　参 加 費　半日コース　500円　一日コース：1,000円

◆名　　称　みずなみ化石教室上級コース
　概　　要　化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
　開 催 日　５月30日（土）、10月31日（土）
　条　　件　小学４年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
　定　　員　10名　　参加費　1,500円

◆名　　称　夏の化石教室～化石マイスター養成編～
　概　　要　小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。
　開 催 日　７月30日（木）、31日（金）、８月８日（土）
　時　　間　９時30分から15時30分
　定　　員　20名　　参加費　2,000円
　講　　師　川瀬基弘氏、片田はるか氏、市村駿汰氏、村宮悠介氏、浅井勇馬氏、当館学芸員

◆名　　称　夏の化石教室～化石マイスター認定編～
　概　　要　化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には認定証を授与する。

開 催 日　８月９日（日）
時　　間　９時 30 分から 15 時
定　　員　10 名　　参加費　1,500 円
講　　師　安藤佑介（当館学芸員）

◆名　　称　パレオパラドキシアを復元しよう
概　　要　パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の３Ｄ骨格画像にイラストで肉付けを行う。
開 催 日　８月 15 日（土）
時　　間　13 時～15 時
定　　員　20 名　　参加費　1,000 円
講　　師　徳川広和氏（恐竜模型作家）

◆名　　称　恐竜の模型を作ろう（入門編）
概　　要　恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けする。
開 催 日　８月 16 日（日）
時　　間　9 時 30 分～11 時 30 分
定　　員　20 名　　参加費　1,500 円
講　　師　徳川広和氏（恐竜模型作家）

◆名　　称　恐竜の模型を作ろう（応用編）
概　　要　恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。
開 催 日　８月 16 日（日）
時　　間　13 時～15 時 30 分
定　　員　15 名　　参加費　2,000 円
講　　師　徳川広和氏（恐竜模型作家）

③博物館実習生の受け入れ
概　　要　７月下旬～８月中旬に延べ２３日間、実習生３名（中部大学１名、名城大学１名、富山大学１名）を受け入れた。

④学校等教育機関との連携（来館・化石採集対応）　※太字が市内学校

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	東海学園高校	5 月 9 日	17 名	化石採集、展示解説
2	帝京大学可児高校	5 月 23 日	18 名	化石採集、展示解説

3	中津川市理科部会	6 月 18 日	32 名	展示解説
4	知立東高校	7 月 10 日	36 名	化石採集、展示解説
5	麗澤瑞浪高校	9 月 17 日	67 名	展示解説
6	岐阜県教育委員会	10 月 7 日	22 名	化石採集等教員研修
7	愛知大学	10月10日	12 名	展示解説
8	金城学院大学	10月17日	7 名	展示解説、化石採集

⑤出前授業・講演会・化石資料貸し出しの実施

概　　要　出前講座は、主に市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料の貸し出しや学芸員が出向き、資料の解説・化石についての授業を行う。毎年４月に教頭会、理科部会で宣伝を行っている。講演会は、日帰りで行ける範囲内であれば要請があった時に学芸員が出向き対応している。

開 催 日　要望があった場合は随時（要予約）

講　　師　当館学芸員

対　　象　小学４年～中学３年（出前授業の場合）

	学校等団体名	対応日	人数等	内容等
1	中部大学同窓会瑞浪支部	7 月 19 日	約 50 名	パレオパラドキシアについての講演
2	えなこどもフェスタ	7月25日、26 日	約 200 名	化石のレプリカづくりワークショップ
3	柳ケ瀬ジュラシックアーケード	9 月 12 日	約 100 名	化石のレプリカづくりワークショップ
3	日吉小学校 6 年生	10月15日	12 名	学校敷地の地層見学、化石に関する授業

⑥観光造成コンテンツ事業（商工観光課主催）、ふるさと納税ツアーの実施

じゃらんとタイアップしたツアー（バックヤードツアー等）に 1 組 3 名、ふるさと納税プライベートツアーに５件の申し込みがあった。

⑦第二回化石検定の開催

８月 22 日（土）に第二回化石検定（前回は令和４年 10 月 19 日）を開催した。東は千葉県、西は広島県より 65 名の参加があった（前回は 60 名）。採点が完了し、今後認定証を発行し、受検者に送付する予定である。

⑧講座用ノートパソコンの購入

平成 30 年に購入したノートパソコンに代わるパソコンを購入し、早速化

石検定の講演会などで活用している（購入費：約 240 千円）。今後は学校への出前授業の際にも活用する。

２）資料の充実と調査・研究

①資料の閲覧

	所属・申請者	閲覧日	資料名・数量
1	東京都市大学・木村	6 月 10 日	瑞浪産カメ化石・一式
2	国立科学博物館・矢部	6 月 17 日	瑞浪産植物化石・一式

②資料の貸し出し

	申請機関（または申請者・所属）	閲覧日・貸出期間	資料名・数量・目的
1	京都大学総合学術博物館	6 月 16 日～9 月 16 日	ゴンフォテリウム頭骨・２点・特別展での展示のため
2	埼玉県立自然の博物館	6 月 16 日～10 月 20 日	瑞浪産パレオパラドキシア頭骨レプリカ・１点・特別展での展示のため
3	長野市立博物館	7 月 4 日～10 月 4 日	ミズナミムカシアシカ・７点・特別展での展示のため

③資料の寄贈

	寄贈者	寄贈日	資料名・数量
1	市川真由美	５月１日	チタケガワホシヒトデ・１点
2	伊藤ゆかり	９月 27 日	瑞浪産カメ化石・１点

④資料の収集

鹿児島県薩摩川内市（甑島）で白亜紀の貝類･カニ類を約２０点採集した。採集した標本については研究や展示に活用する予定である。

⑤調査・研究事業（定期研究報告刊行事業、化石博物館資料収集・備品等購入経費）

・パレオパラドキシア泉標本共産サメ化石の研究（完了）
（担当：安藤、群馬県立自然史博物館などと共同で実施）
・平成 30 年に市内で発見されたシカ化石の記載（完了）
（担当：安藤、ふじのくに地球環境史ミュージアムと共同）
・九州産（主に薩摩川内市）カニ化石の研究（継続）

（担当：安藤、甑ミュージアム、熊本大学と共同で実施）
・瑞浪産カメ化石の分類学的検討（新規）
（担当：安藤、東京都市大学と共同で実施）
・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討 （担当：柄澤、継続中）
・生命の樹プロジェクト－十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究
（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究）
・10 月末までに下記論文が出版された。
・加藤 萌・市川真由美・安藤佑介. 2026. 師崎層群山海層より産出した Doraster mizunoi Kato and Oji の追加記録. 化石の友 71: 2-5.
・髙棊祐司・安藤佑介・川谷文子・甲能直樹・長谷川善和. 2026. Paleoparadoxia tabatai（パレオパラドキシア）泉標本と共産した板鰓類化石. 瑞浪市化石博物館研究報告 53(1): 107-112.

⑥古生物データベースの更新

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。10 月末までに 6,083 点が登録された。

なお、データベース管理用パソコンが６月に故障したため、補正予算で新規購入する（予算：約 40 万円）。

⑦化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和８年度は研究報告第 53 巻の公開を行う。現在までに 16 編（日本 11 編、イギリス３編、スペイン１編、アメリカ１編）の論文の投稿・公開がなされており、公開された論文については令和８年３月に冊子媒体で 200 冊出版する予定である。

⑧報道発表、広報への記事掲載

これまでに広報みずなみには「みずなみ化石ナビ」の記事を４月号（みずなみ化石教室のご案内）、６月号（化石検定）に掲載した。報道機関には、ミニ展示、野外学習地階段への手すり設置、化石検定の情報提供を行い、中日新聞や岐阜新聞に掲載された。

また、10 月 30 日午後にシカ化石の報道発表を行う予定である。

３）化石博物館空調機器の改修について（化石博物館改修事業）

化石博物館の空調設備（全館空調と展示室空調）は、設置から 27 年が経過し、一部の部品は製造中止となっていることから修理不可能となる場合がある。令和８年度は、全館空調機器部品の入替改修工事を行い、延命措置を

行う（予算額 29,000 千円）。

４）化石博物館照明機器のＬＥＤ化改修工事について（化石博物館改修事業）

現在、全庁的に照明機器をＬＥＤに改修しており、化石博物館でも事務所、レクチャールームの蛍光灯をＬＥＤに改修した。（契約額約 23,000 千円）。なお、展示室と収蔵庫の一部は蛍光灯のままであるが、今後スポット的に改修を行っていく予定である。

５）野外学習地アクセス階段への手すり設置について（化石博物館施設管理経費）

岐阜県多治見砂防事務所との協議の結果、手すりを上流側に一か所設置することとなり、本年６月に工事を実施した（施工費約 320 千円）。

資料

令和８年度入館者数　（人）

月	一般	小中	一般団体	小中団体	合計	7年度	比較
4	902	670	31	51	1,654	1,889	-235
5	3,046	1,593	188	18	4,845	3,068	1,777
6	625	361	82	175	1,243	1,765	-522
7	986	624	94	271	1,975	1,630	345
8	1,783	1,185	46	99	3,113	3,213	-100
9	1,394	926	4	63	2,387	1,792	595
合計	8,736	5,359	445	677	15,217	13,357	1,860

令和８年度野外学習地利用者　（人）

月	個人組数	個人人数	団体組数	団体人数	組数合計	人数合計	7年度	比較
4	212	789	1	31	213	820	1,019	-199
5	423	1,464	3	163	426	1,627	1,442	185
6	94	283	2	143	96	426	578	-152
7	180	499	4	143	184	642	598	44
8	238	762	2	97	240	859	919	-60
9	206	720	0	0	206	720	551	169
合計	1,353	4,517	12	577	1,365	5,094	5,107	-13

令和８年度みずなみ化石教室参加者　　（人）

定員 30名		定員20名		定員10名	
開催日	受講者数	開催日	受講者数	開催日	受講者数
4月26日	31	4月26日	20		
5月10日	24	5月10日	19	5月30日	6
6月7日	30	6月7日	18		
7月19日	23	7月19日	22		
9月13日	中止	9月13日	中止		
合計	108	合計	79	合計	6

令和８年度各講座受講状況　　（人）

講座名	開催日	受講者数	定員
化石マイスター養成編	7月30日	20	20
化石マイスター養成編	7月31日	16	20
化石マイスター養成編	8月8日	13	20
化石マイスター認定編	8月9日	13	10
パレオパラドキシアを復元しよう	8月15日	13	20
恐竜の模型を作ろう（入門編）	8月16日	15	20
恐竜の模型を作ろう（応用編）	8月16日	11	12
合計		101	122

令和９年度事業計画について（案）

１）普及活動の充実

①企画展等の開催（化石博物館事務経費）

◆名　　称　ミニ展示
　概　　要　新設した展示コーナーに広報や論文に掲載された化石を定期的に展示する。年に 1 回程度実施予定。

②講座等の開催（定期講座開催経費）

◆名　　称　みずなみ化石教室（半日コース・一日コース）
　概　　要　小学校以上を対象とし、野外学習地での化石採集（半日コース）、石膏による化石レプリカづくり＋化石のクリーニング（1 日コース）を行う。
　開 催 日　毎月 1 回
　定　　員　半日コース：30 名、一日コース：20 名
　参 加 費　半日コース　500 円　一日コース　一般：1,000 円

◆名　　称　みずなみ化石教室上級コース
　概　　要　化石採集、化石のクリーニング、種同定を行う。
　開 催 日　５月 30 日（土）、10 月 31 日（土）
　条　　件　小学４年生以上、みずなみ化石教室参加経験者
　定　　員　10 名　　参加費　1,500 円

◆名　　称　夏の化石教室～化石マイスター養成編～
　概　　要　小学生以上を対象とし、専門家の解説・指導により野外学習地で化石採集、博物館別館で化石クリーニング等を行う。
　開 催 日　７月 29 日（木）、30 日（金）、８月７日（土）
　時　　間　９時 30 分から 15 時 30 分
　定　　員　20 名　　参加費　2,000 円
　講　　師　川瀬基弘氏、村宮悠介氏、片田はるか氏、市村駿汰氏、浅井勇馬氏

◆名　　称　夏の化石教室～化石マイスター認定編～
　概　　要　化石マイスター認定編修了者およびみずなみ化石教室上級編修了者を対象に、地層観察・柱状図作り・化石のレプリカ作り・認定試験を行い、修了者には修了証を授与する。
　開 催 日　８月８日（日）
　時　　間　９時 30 分から 15 時
　定　　員　10 名　　参加費　1,500 円

講　　師　安藤佑介（当館学芸員）

◆名　　称　パレオパラドキシアを復元しよう
概　　要　パレオパラドキシア瑞浪釜戸標本の３D 骨格画像にイラストで肉付けする。
開 催 日　８月 14 日（土）
時　　間　13 時から 15 時
定　　員　20 名　　参加費　1,000 円
講　　師　徳川広和氏（恐竜模型作家）

◆名　　称　恐竜の模型を作ろう（入門編）
概　　要　恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の頭部骨格模型に色粘土で肉付けをする。
開 催 日　８月 15 日（日）
時　　間　９時 30 分～11 時 30 分
開 催 日　15 名　　参加費　1,500 円
講　　師　徳川広和氏（恐竜模型作家）

◆名　　称　恐竜の模型を作ろう（応用編）
概　　要　恐竜について最新の研究成果を紹介し、恐竜の全身骨格模型に石粉粘土で肉付けを行った後、皮膚の造形や彩色を行う。
開 催 日　８月 15 日（日）
時　　間　13 時～15 時 30 分
定　　員　10 名　　参加費　2,000 円
講　　師　徳川広和氏（恐竜模型作家）

◆名　　称　コハクの原石を磨こう！
概　　要　コハクについて紹介し、外国産のコハクを磨いて標本を作成する。
開 催 日　10 月 24 日（日）
時　　間　10 時から 12 時
定　　員　15 名　　参加費　1,000 円
講　　師　当館学芸員

③博物館実習生の受け入れ
概　　要　７月下旬の１週間、実習生を受け入れる。

④出前授業・化石資料貸し出しの実施（市内向け）

概　　要　市内の小中学校を対象に、化石博物館の資料を授業用に貸し出す。要請があった場合、主に野外学習地で採集できる化石をケースに入れて貸し出し、理科の補助教材として役立ててもらう。また、要望があった場合は、学芸員が出向き、資料の解説を行う。

開 催 日　要望があった場合は随時（要予約）

講　　師　当館学芸員

対　　象　小学４年～中学３年

２）資料の充実と調査・研究

①調査・研究事業

（１）調査（化石博物館資料収集・備品等購入経費）

・鹿児島県薩摩川内市：中生代の貝類・十脚類化石の調査

（２）研究

・九州産（主に薩摩川内市）カニ化石の研究（継続）

（担当：安藤、甑ミュージアム、熊本大学と共同で実施）

・瑞浪産カメ化石の分類学的検討（新規）

（担当：安藤、東京都市大学と共同で実施）

・化石博物館に収蔵された十脚類化石の再検討

（担当：柄澤、継続中）

・生命の樹プロジェクト―十脚類、全群の系統解析に関わる共同研究

（担当：柄澤、アメリカ研究者チームとの共同研究、継続中）

②備品等の購入・制作

（定期講座開催経費・化石博物館資料収集・備品等購入経費）

・図書コーナー用図書：恐竜超世界等を購入予定。

・研究用書籍：Tropical Deep-Sea Benthos 等２冊を購入予定。

・クリーニング機器の新規購入を予定（約 30 万円）。

・展示台の新規購入を予定（約 50 万円）。

③古生物データベースの更新

館蔵資料の一層の活用を図るため、ボランティアの協力により、インターネットで館蔵資料を検索・閲覧できる古生物データベースのデータ更新、標本整理を継続する。古生物データベースは博物館のホームページで公開している。

また、データベースの管理は、市役所にサーバーを設置して行っているが、データのアップロードや保守等に負担がかかっており、令和９年度よりレンタルサーバーへの移行を目指す（改修費：約 80 万円、賃借料：年間約 30 万円）。

④化石博物館研究報告の発行（定期研究報告発行事業）

令和９年度は研究報告第 54 号の公開を行う。公開された論文については令和 10 年３月に冊子媒体で 200 部出版する予定である。

３）化石博物館照明機器の改修について（化石博物館改修事業）

令和８年に化石博物館事務室とレクチャールームの照明をＬＥＤ化したが、敷地内の街灯が蛍光灯のままであるため、ＬＥＤに改修する。その際に基礎が不安定な１基を撤去する。

協議会委員名簿（令和６年４月１日～令和８年３月３１日：任期２年）

氏　名	所属・役職等	選出区分
藤井　志保	明世小学校長	学校教育関係者
吉田　英一	名古屋大学博物館　館長・教授	学識経験のある者
松岡　敬二	豊橋市自然史博物館元館長	学識経験のある者
中山　京三	瑞浪市サッカー協会理事	社会教育関係者
西尾　京子	化石博物館ボランティア 市民図書館読み聞かせボランティア	家庭教育の向上に資する活動を行う者